

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)

【公開番号】特開 2002-168247 (P2002-168247A)  
 【公開日】平成 14 年 6 月 14 日 (2002.6.14)  
 【出願番号】特願 2000-363115 (P2000-363115)  
 【国際特許分類】

**F 1 6 C 29/06 (2006.01)**

**F 1 6 C 33/66 (2006.01)**

**F 1 6 H 25/24 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 C 29/06

F 1 6 C 33/66 A

F 1 6 H 25/24 J

F 1 6 H 25/24 L

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 6 月 27 日 (2007.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 外方部材と、該外方部材に隙間を介して対向する内方部材と、前記外方部材と前記内方部材との間に転動自在に配設され、前記外方部材と前記内方部材とを相対移動させる複数の転動体と、前記隙間の開口を密封するシール装置と、前記シール装置に近接して配置され、潤滑剤を含有した状態で固化した合成樹脂からなる潤滑剤供給部材とを備えた直動装置において、前記潤滑剤供給部材が、熱伝導率が  $20\text{W} / \text{m} \cdot \text{K}$  以上の固体潤滑剤を含有していることを特徴とする直動装置。

【請求項 2】 前記固体潤滑剤が黒鉛または窒化硼素であることを特徴とする請求項 1 記載の直動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

表 1 に示すように、黒鉛粉末を含有させた実施例 1 の試験片及び窒化硼素を含有させた実施例 2 の試験片では、熱伝導率が大幅に高まることが確認された。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

表 2 及び表 3 から、潤滑剤供給部材に黒鉛粉末を含有させた実施例 1 及び窒化硼素を含有させた実施例 2 では、送り速度が早くなっても動摩擦係数並びに温度の上昇が少なく、高速走行時における安定性が高いことが確認された。